



東京モーターショーでもUDタクが登場。
 ①トヨタがイメージした次世代タクシーがつくる街並みの映像②日産NV200タクシー・ユニバーサルデザイン（左）



トヨタ次世代タク 17年度発売 約340万円

トヨタ自動車（豊田章男社長）の次世代タクシー車両の概要が先週、一部明らかにになった。燃費はコンパクトの約2倍となる1リッターあたり11.8キロを自指し、価格は330〜340万円になる見通しだ。同社は10月26日、2017年度内に発売すると公表。全国ハイヤー・タクシー連合会の技術環境委員会（川村泰利委

員長）で開発担当者が講演したほか、都内では27、28両日、内見会を開き、タクシー事業者に示した。29日開幕の東京モーターショーでは次世代タクシーがつくる街のイメージを映像で紹介した。

26日の報道発表で次世代タクシーの外観は、13年東京モーターショーに出展した「JPN TAXI Concept」と同様のデザインを採用。パワートレインにはタクシーの走行パターンに適した「LPGハイブリッドシステム」を搭載。ユニバーサルデザイン（UD）車の適合を自指しているとした。価格は公表していない。

全タク連技術環境委にトヨタ側から出席、講演したのは、武田裕介・国内商品

部長と粥川宏・製品企画本部チーフエンジニア。都内内見会は新宿のヒルトン東京で開かれ、車両の概要説明やモックアップ（車体模型）の展示があった。

内見会の参加者によると、会場には多くのタクシー事業者が訪れていたという。「まだ完成車ではないが、かなり作り込まれており、良い車だと思った。バッテリーや部品などメンテナンスが心配」といった感想が聞かれた。

東京モーターショーでは29日のプレビューデーから、自社のブースで次世代タクシーの映像を流した。五輪が開催される20年の東京のビジョンをイメージ。都会の街を走ったり、ホテルに入構したりする様子が映し出された。